１　三原小学校　研究構想

（１）研究主題

自己選択・自己決定し、主体的に学び続ける児童の育成
――　「ミライプラン advance」の中で、児童が自ら学ぶ授業を通して　――

（２）研究仮説

算数科の授業において、めざす姿に向けて児童がインプット・アウトプットする場面で自己選択・自己決定し、それに対するフィードバックの中で自己調整を繰り返し行うことで、主体的に学び続ける児童を育成することができるだろう。

（３）学習に関する課題

・育成を図る資質能力の「主体性」の項目において「自分で課題を選んだり、決めたりしている」という質問に対し、強い肯定を示している割合が、６学年中３学年で 50%を下回る結果となった。よって、児童が自ら課題を選んだり決めたりすることに課題がある。
・標準学力検査 NRT において、「図形」「変化と関係」「データの活用」の内容を問う問題の正答率が低い。
・文章問題において、演算決定のためのキーワードや問題文の意味の理解に課題がある。

（４）研究推進の方策

①「ミライプラン advance」を活用した実践

ア　単元開発・実践について

・授業研究を１人１回行い、教師の見取りと児童の自己評価をまとめる。
・授業研究では、学年で単元構想をし、実態に応じた授業展開をする。

イ　基礎・基本の習得と本校で育成を図る資質・能力の育成

・桜山タイム・柳の坂タイムを実施し、個別指導の時間を確保することで学力の定着を図る。
・学期末にテストの目標を設定し、計画を立てて学習を進めさせる。
・各教科の授業で、目標と育成を図る資質・能力を関連付けて意識させる。
・相互参観を年間２回行い、めざす学習集団づくりの姿を共有する。

②校内研修

次の内容について随時校内研修を行う。
・学習規律や教室環境の在り方（４月）
・「ミライプラン advance」を活用した授業展開（４月）
・ICT 機器の効果的な活用（８月）
・i-check を活用した望ましい学習集団の育成（８月）

（５）検証の指標及び達成目標

①　資質・能力に関する検証

ア　三原小つけたい力アンケート（年間４回）

・「学び力」の「自分で課題を選んだり、決めたりしている」という質問において、肯定的回答を 85%以上にする。（２月）

②　「ミライプラン advance」の検証

ア　研究単元のテストによる評価

・研究単元のテストで低学年は 90 点以上、90%以上、３年生以上は 80 点以上の児童を学級の 80%以上にする。

③　基礎・基本の習得に係る検証

ア　学期末テストによる評価（年間３回）

・国語と算数の学期末テストで低学年は 90 点以上、90%以上、３年生以上は 80 点以上の児童を学級の 80%以上にする。（毎学期末）

（６）研究構想図

教育目標

みはらミライの挑戦　～レッツ　チャレンジ～

めざす子供像

- ○　自分と人を大切にする子供
- ○　学び続ける子供
- ○　ふるさと三原を愛する子供

研究主題

自己選択・自己決定し、探究的に学び続ける児童の育成
――　「ミライプラン advance」の中で、児童が自ら学ぶ授業を通して　――

研究仮説

○　算数科の授業において、めざす姿に向けて児童がインプット・アウトプットする場面で自己選択・自己決定し、それに対するフィードバックの中で自己調整を繰り返し行うことで、主体的に学び続ける児童を育成することができるだろう。

育成をめざす資質・能力

学びカ　ゆめカ　つながりカ
自分カ

授業研究の充実

- ○　研修体制の充実
- ○　学び合う教職員集団づくり
- ○　めざす授業像の共有

「ミライプラン advance」の活用

- ・インプット、アウトプット、フィードバックのサイクルで主体的な学びの促進
- ・学び方の選択肢を、児童が自己選択・自己決定できる場面の設定

学力の向上

- ・全国学力・学習状況調査や NRT 学力検査の課題をふまえた授業研究の実施
- ・桜山タイム・柳の坂タイムにおける「基礎・基本の習得」と「活用力の育成」

主体的な学び合いをサポートする学習集団づくり

- ○　全員の成長を一人一人が願う集団づくり
- ○　相手意識のある話し方・聞き方
- ○　教師の受容的な姿勢

- ○　一人一人に居場所のある学級・学校
- ○　一人一人が大切にされる学級ルールづくりと実践
- ○　学びの歩みが見える教室・校内環境

【検証の指標・目標】

①　資質・能力に関する検証
ア　児童アンケート
「学びカ」の肯定的回答
８５%以上
〈アンケート項目〉
- ・自分カ
- ・学びカ
- ・ゆめカ
- ・つながりカ

②　ミライプラン―advance―の検証
ア　研究単元のテストによる評価
研究単元のテストで１・２年生は 90 点以上を 90%以上、3～6年生は 80 点以上の児童を学級の 80%以上

③　基礎・基本の習得に係る検証
ア　学期末テストによる評価（年間3回）
国語（漢字のまとめ、学期末テスト）と算数（学期末テスト）で１・２年生は 90 点以上を 90%以上、3～6年生は 80 点以上の児童を学級の 80%以上

（7）本校の全教育活動を通して育成をめざす資質・能力

三原小学校の教育活動全体で育成をめざす資質・能力を整理し、めざす姿を児童と共有する。

表１　三原小学校で育成をめざす資質・能力とめざす児童の姿の例

		初級	中級	上級
知識・技能	自分力	自分のことを知っている。	自分のことを知り、自分にできることを決めている。	自分のことを知り、自分にできることを決め、自己指導能力を高めている。
思考・判断・表現	学び力	課題解決に向かっている。	課題解決に向かい、自分の学びを振り返っている。	課題解決のために、自分の学びを振り返り、新たな学びへ向かっている。
	つながり力	共に学んだ仲間とつながっている。	共に学んだ仲間や地域の「人・もの・こと」とつながっている。	「人・もの・こと」とのつながりを広め、発展している。
主体的に学び取り組む態度	ゆめ力	自分の目標を決めようとしている。	自分の目標を決め、目標達成のための手立てを探そうとしている。	自分の目標を決め、目標達成のための手立てをあきらめずに探し、きわめようとしている。